

中小企業労働者の能力強化に向けた技能評価に基づく訓練導入 プロジェクト (2021年~2023年)



ゲームで楽しみながらソフトスキル強化を！

■ 実施団体：

国立大学法人 東海国立大学機構
名古屋大学 国際開発研究科
山田肖子研究室



■ 対象国・地域： エチオピア国

■ 現地カウンターパート エチオピア国 カイゼン エクセレンシー センター (KEC)

■ 協力内容：

- ・ソフトスキル向上を狙い、ボードゲームを用いた訓練を開発（以下、ゲームベース訓練と称す）
- ・ゲームベース訓練の現地トレーナーの育成
- ・労働者のスキル評価およびゲームベース訓練の有効性検証

■ 団体のこれまでの取り組み：

- ・名古屋大学山田研究室では、Global Southの経済成長、貧困削減のための産業人材の効果的な育成手段、職業技術教育との整合性や技能評価実用化を目的として研究を実施。

(<https://skills-for-development.com>)

■ 事業実施の背景：

- ・エチオピア国では、外国投資による輸出向け大工場を多く誘致している一方で、中小企業の生産性や技術は停滞。
- ・中小企業で働く労働者の能力を高めることが、同国の産業連関向上、安定的経済発展、労働者の所得及び生活向上に不可欠だが、中小企業が自ら訓練を行う余裕はなく、教育訓練機関との連携もうまくいっていない。

エチオピア国の課題と成果

課題

生産性を高めるために重要な労働者向けの有効な非認知能力（ソフトスキル）強化訓練が整備されていない。

成果

- ・労働安全衛生、整理整頓、職場の効率化、製品品質、チームワークの5つの非認知能力を向上するためのゲームベース訓練と評価を実施（2種のゲーム、ハンドブック、On-Line スキル評価システムの作成）
- ・KECのスタッフ26名に本訓練の進め方を指導し、ファシリテーターとして育成、実際の訓練を実施
- ・介入の有無、前後でのスキル評価(501名)を実施し、5つ全ての非認知能力向上が得られることを検証した。
- ・KECにてトレーニングを受けたスタッフが継続的に訓練を実施している。

事業の波及効果



労働者能力向上へのゲームベース訓練の有効性・効率性が認知され、更なる展開へ！

- ・事業終了時にエチオピア国政府、関係機関を訪問。各機関とも同国の労働競争力強化に対しソフトスキル向上が重要であるとの認識を持ち教育・訓練政策に反映しつつある。その中で今回のゲームベース訓練が1日で有効な効果が得られる事など、展開に強い期待を表明された。KECや関連機関からの要望を受け、今後の連携含め広域展開や別の分野・産業への展開・開発を継続している。